



東証スタンダード市場・名証メイン市場

証券コード:9221

フルハシEPO株式会社

2023年3月期

第2四半期決算説明会資料

2022年11月28日

1. 会社概要
2. 第2四半期決算概要
3. 通期業績予想
4. トピックス

1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

4. トピックス

社名	フルハシEPO株式会社（英語名 FULUHASHI EPO CORPORATION）
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場、名古屋証券取引所 メイン市場 証券取引コード:9221
創業	1947年12月
設立	1948年 2月
本社	名古屋市中区金山一丁目14番18号
資本金	572百万円(2022年9月末)
従業員数	452名(連結:2022年9月末)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● バイオマテリアル事業● 資源循環事業● 環境物流事業
許可	<ul style="list-style-type: none">● 建設業許可● 産業廃棄物処分業許可● 産廃収集運搬業許可● 一般廃棄物処分業許可● 古物商許可
関係会社	<ul style="list-style-type: none">● 連結子会社:6社（国内4社・海外2社）● 持分法適用関連会社:2社(ともに国内)

経営理念

世のため 人のため 地球のため 社員のため
持続可能な社会を創造します

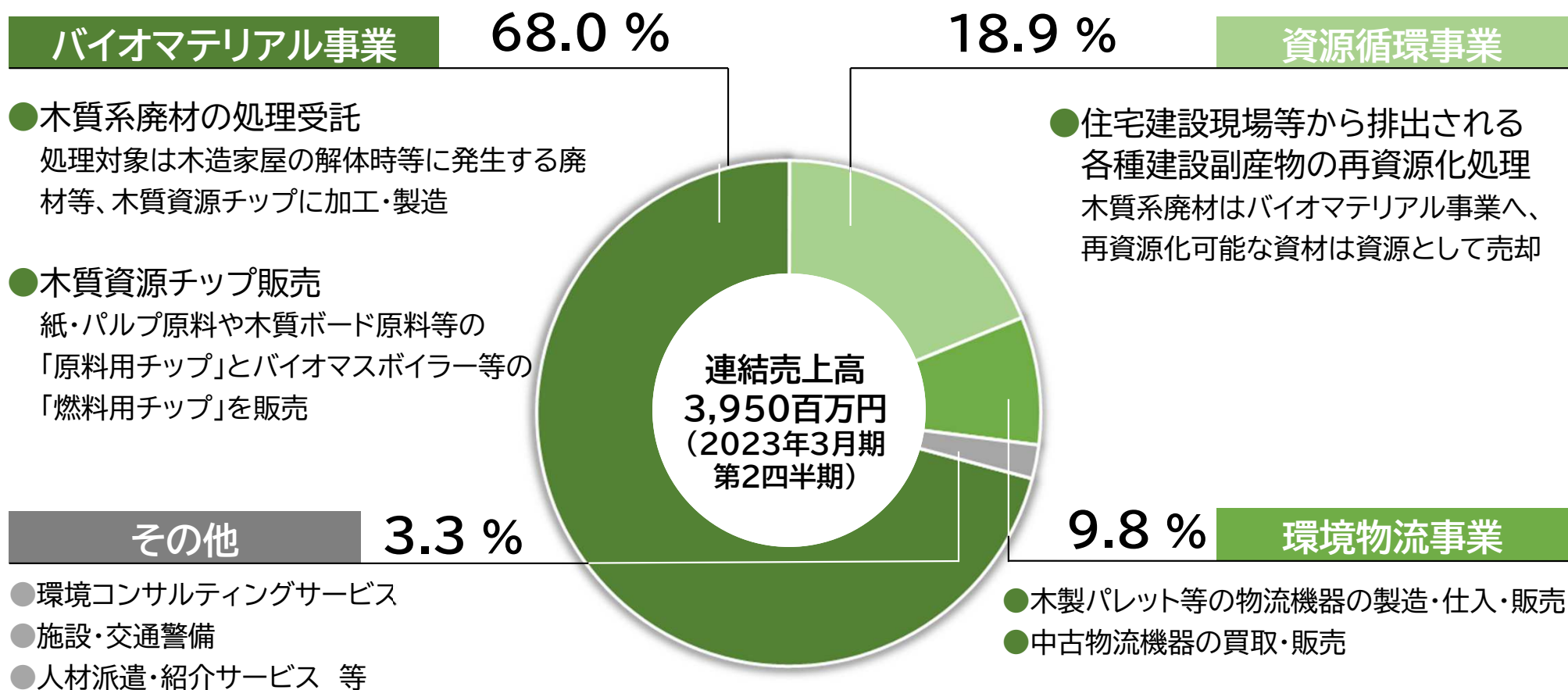
FULUHASHI Spirits[行動指針]

世の中にとって必要か？正しいか？環境にやさしいか？

1. 新しい可能性にチャレンジし、持続可能な社会を実現します。
2. お客様の立場に立って考え、ニーズに応えます。
3. プラス発想と行動力で付加価値を高めます。
4. 知性・技術・感性を育て、使命感を持って仕事に取り組みます。
5. 豊かなところでユーモアを忘れず仕事を楽しみます。

環境配慮、社会性、企業倫理を含めたコンプライアンスに対する意識の徹底を図ると共に、様々なステークホルダーとの持続的な経営を推進

バイオマテリアル事業、資源循環事業、2つの事業を柱に 総合的な環境ソリューションを展開



(注)各セグメントの外部顧客への売上高を連結売上高で除して売上割合を計算しております。

バイオマテリアル事業の概要

廃棄物排出事業者等から木質系廃材の処理を受託し、
当社工場で木質資源チップに加工・製造し販売

■ 木質バイオマスの
資源化の流れ



約80%が燃料用、
約20%が原料用
チップとして販売

顧客企業
(入荷)

建設会社

解体業者

メーカー

物流会社

入荷物

解体材



製材端材



廃パレット



等の木くず

当社工場(加工)



木質資源チップ

出荷物

バイオマス燃料



製紙用原料



繊維板原料



顧客企業
(販売)

発電会社

メーカー

製紙メーカー

ボード会社

当社が参画するバイオマス発電事業

国内2か所でバイオマス発電事業に参画、新たな需要を創出し、
年間17万トン超の燃料チップを安定的に供給



川崎バイオマス発電所

(2011年2月運転開始)

共同出資：住友共同電力(株)、住友林業(株)

- 川崎市の厳しい環境基準をクリアした「都市型バイオマス発電所」

<川崎バイオマス発電所とジャパンバイオエナジー(株)>



- ・ 発電出力 約33,000kW(発電端)
- ・ CO2排出削減量 年間約12万トン



CEPO半田バイオマス発電所

(2019年10月運転開始)

共同出資：(株)シーエナジー <中部電力グループ>

- 燃料である木質資源チップは、隣接の愛知第七工場で製造しコンベアで搬入

<CEPO半田バイオマス発電所と当社愛知第七工場>

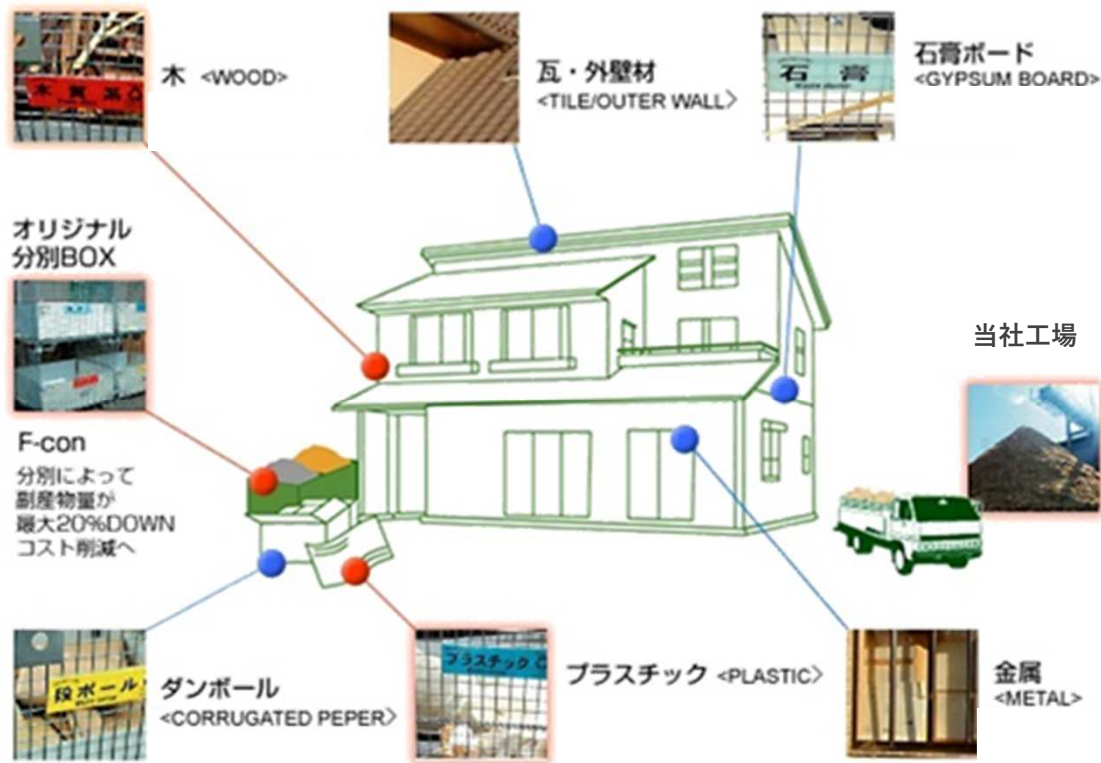


- ・ 発電出力 約50,000kW(発電端)
- ・ CO2排出削減量 年間約15万トン

資源循環事業の概要

住宅建設現場等から排出される各種建設副産物(廃棄物)を収集運搬し、当社グループ工場で中間処理による再資源化

■新設住宅の建設現場から生まれる様々な資材の副産物



当社グループで取扱う産業廃棄物7品目

- 木くず
- 廃プラスチック類
- 紙くず
- 繊維くず
- 金属くず
- ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
- がれき類

集荷

再資源化率 81.4%

選別、再資源化等の中間処理
(当社グループ工場にて)

出荷

再資源化 ⇒ 副産物として販売
(当社グループ工場および中間処理業者にて)

【木くず】 バイオマテリアル事業を行う各工場へ

【その他】 資源循環事業の各工場再資源化 & 中間処理業者に委託して再資源化

*最終埋立処分が必要な廃棄物は、最終処理業者へ外注委託・処理

1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

4. トピックス



第2四半期決算概要(業績ハイライト)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
3,950百万円	381百万円	420百万円	300百万円

事業環境

- 新型コロナウイルス感染症流行禍から経済は回復傾向にあるものの、世界的な金融引き締め、ロシア・ウクライナ情勢悪化による物価上昇や為替影響により、原材料やエネルギーコストが上昇し先行きは不透明であるが、国内燃料の需要は高まる傾向
- 建設業界における建設需要は、建設資材の高騰や人手不足等の厳しい事業環境が続くものの、大手ハウスメーカーを中心に底堅さを維持

主な取組み

- バイオマテリアル事業における燃料販売単価の改定
- 岐阜第二工場(大垣)の順調な稼働のため、当エリアでの新規顧客獲得に注力
- SDGsやカーボンニュートラルの実現にむけた研修・支援等の営業活動・新規開拓

第2四半期決算概要(損益計算書)

(単位:百万円)

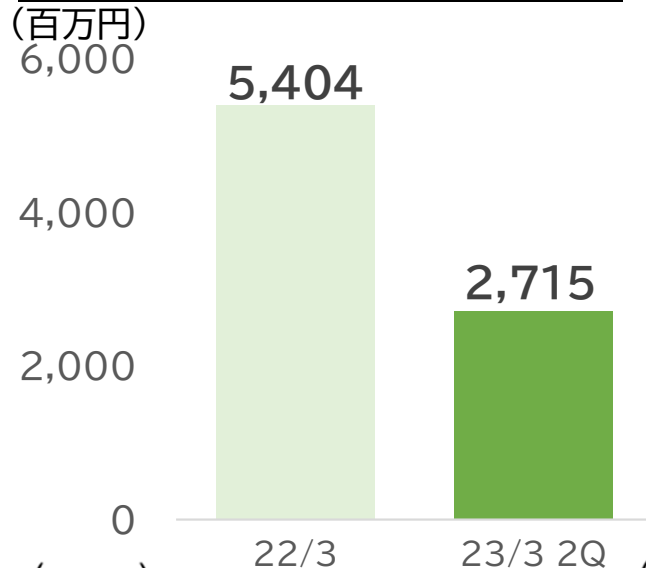
	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期			
	実績	実績	構成比	予想	予想比
売上高	7,716	3,950	100.0	3,981	△0.78%
売上総利益	3,390	1,740	44.1	1,787	△2.63%
営業利益	787	381	9.7	445	△16.80%
経常利益	837	420	10.6	462	△10.00%
親会社株主に帰属する当期純利益	569	300	7.6	345	△15.00%

主な要因

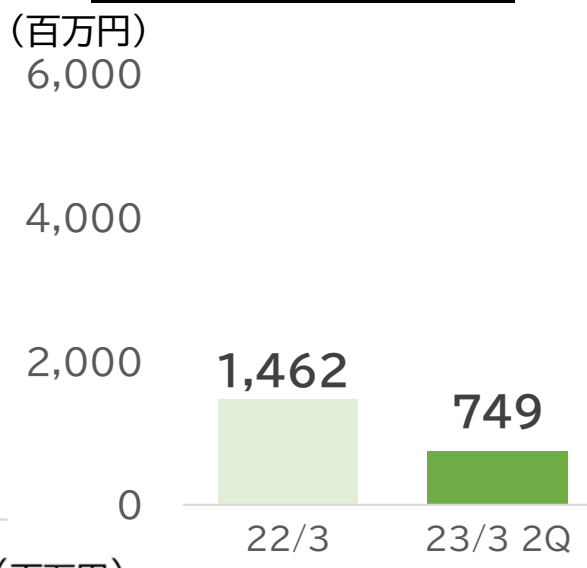
- 工業用水の取水制限等により、木質バイオマス発電所への燃料チップ販売が一時的に制限される

第2四半期決算概要(セグメント別分析)

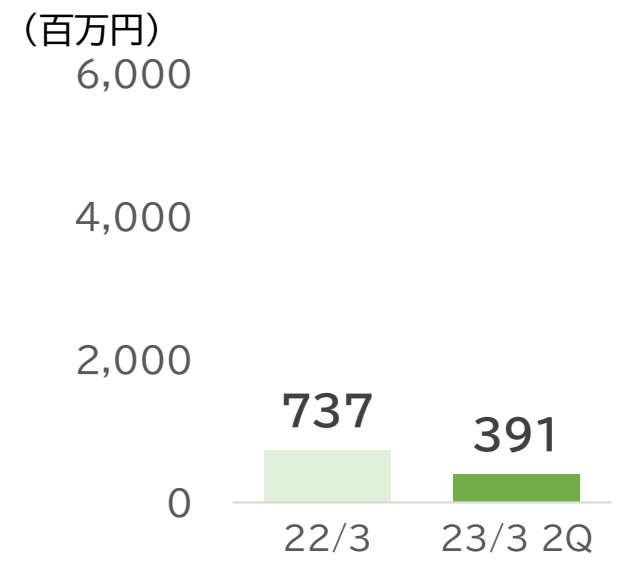
<バイオマテリアル事業>



<資源循環事業>

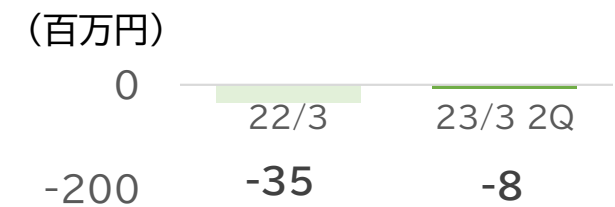
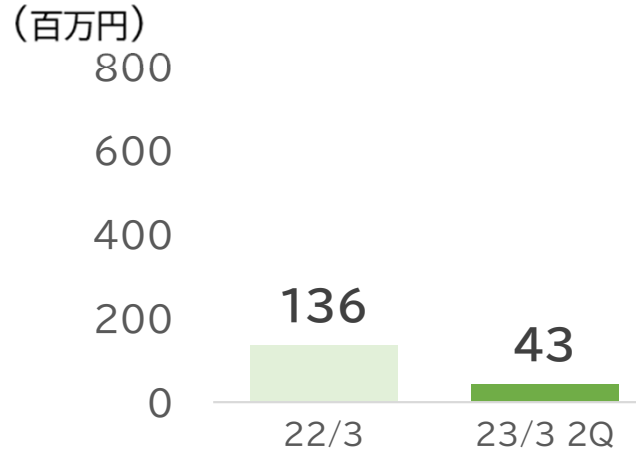
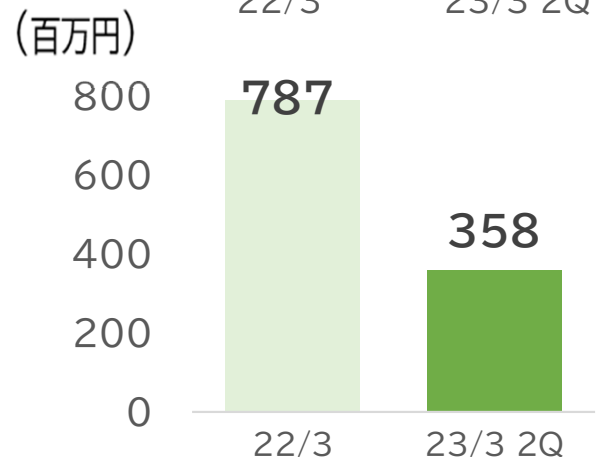


<環境物流事業>



売上高

営業利益



- バイオマテリアル事業は、原油高や円安等によりPKSの単価が上昇したことにより、当社への木質資源チップ受注が増加
- 資源循環事業は、東海地区・関東地区共に取扱数量が増量
- 環境物流事業は、中古リニューアル品販売が堅調

第2四半期決算概要(貸借対照表)

(単位:百万円)

	2022年3月期 期末	2023年3月期 第2四半期	
		実績	増減額
流動資産	1,902	1,995	93
固定資産	7,355	7,584	228
資産	9,258	9,580	321
流動負債	3,515	3,306	△209
固定負債	3,627	3,421	△205
純資産	2,115	2,851	736
負債・純資産合計	9,258	9,580	321

主な要因

- 固定資産の増加:西東京工場(入間)への設備投資により建設仮勘定が233百万円増加
- 流動負債の減少:返済により1年内返済長期借入金返済が49百万円減少、
火災損失引当金34百万円減少、支払手形・買掛金・未払金83百万円減少
- 固定負債の減少:長期借入金返済により169百万円減
- 自己資本比率:29.8%

第2四半期決算概要(キャッシュ・フロー計算書)

(単位:百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 第2四半期 実績
営業活動 C F	816	365
投資活動 C F	△481	△353
財務活動 C F	△379	84
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	5
現金及び現金同等物の増加額	△39	101
現金及び現金同等物の期首残高	546	507
現金及び現金同等物の期末残高	507	609

主な要因

- 営業CF:税金等調整前当期純利益464百万円、減価償却費234百万円の増加。
法人税等の支払額172百万円の減少 等
- 投資CF:有形固定資産の取得による支出363百万円の減少 等
- 財務CF:株式発行による収入515百万円、長期借入による収入300百万円の増加。
長期借入金の返済による支出534百万円の減少 等

1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

4. トピックス



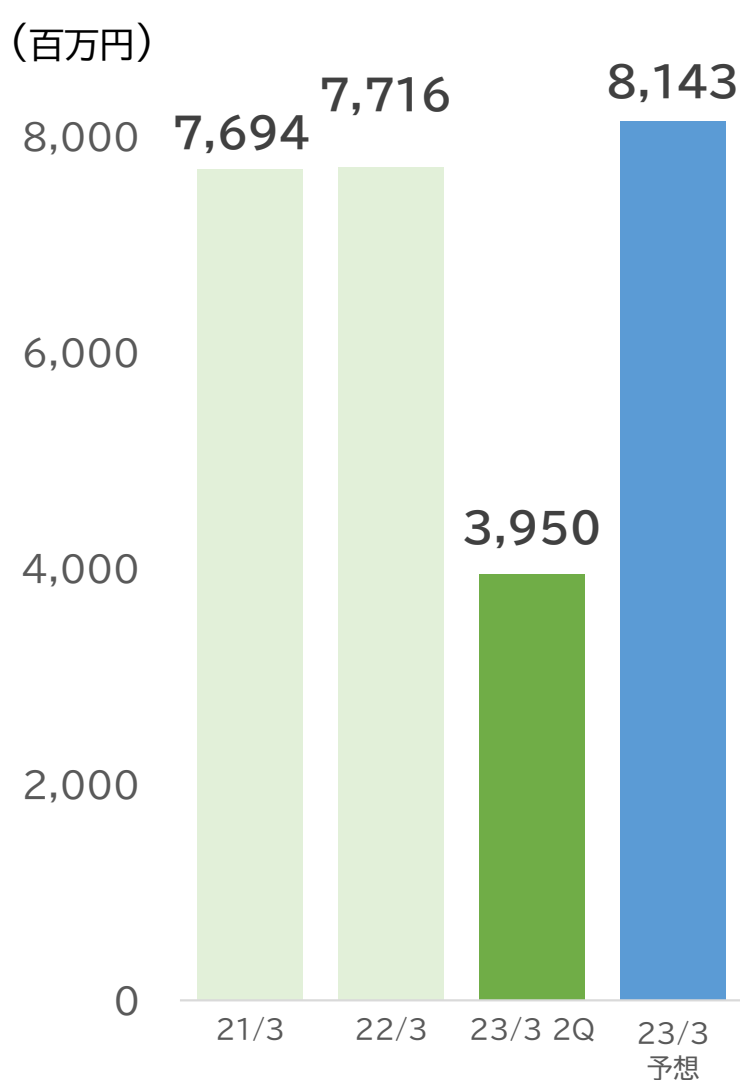
通期業績予想

(単位:百万円)

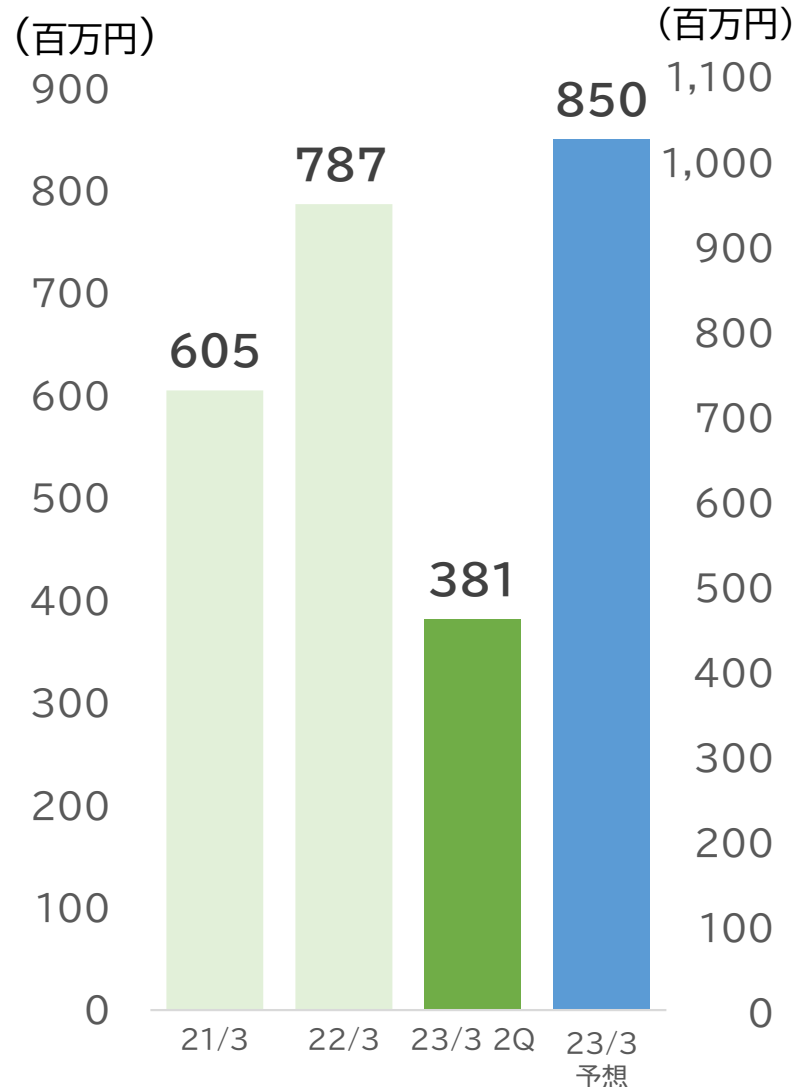
	2022年3月期	2023年3月期			2023年3月期 2Q累計	
	実績	業績予想※	増減額	増減率	実績	進捗率
売上高	7,716	8,143	427	5.5%	3,950	48.5%
売上総利益	3,390	3,620	230	6.8%	1,740	48.0%
営業利益	787	850	62	8.0%	381	44.8%
経常利益	837	1,047	209	25.0%	420	40.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	569	751	181	31.9%	300	39.9%

※11月14日付で通期業績予想を上方修正

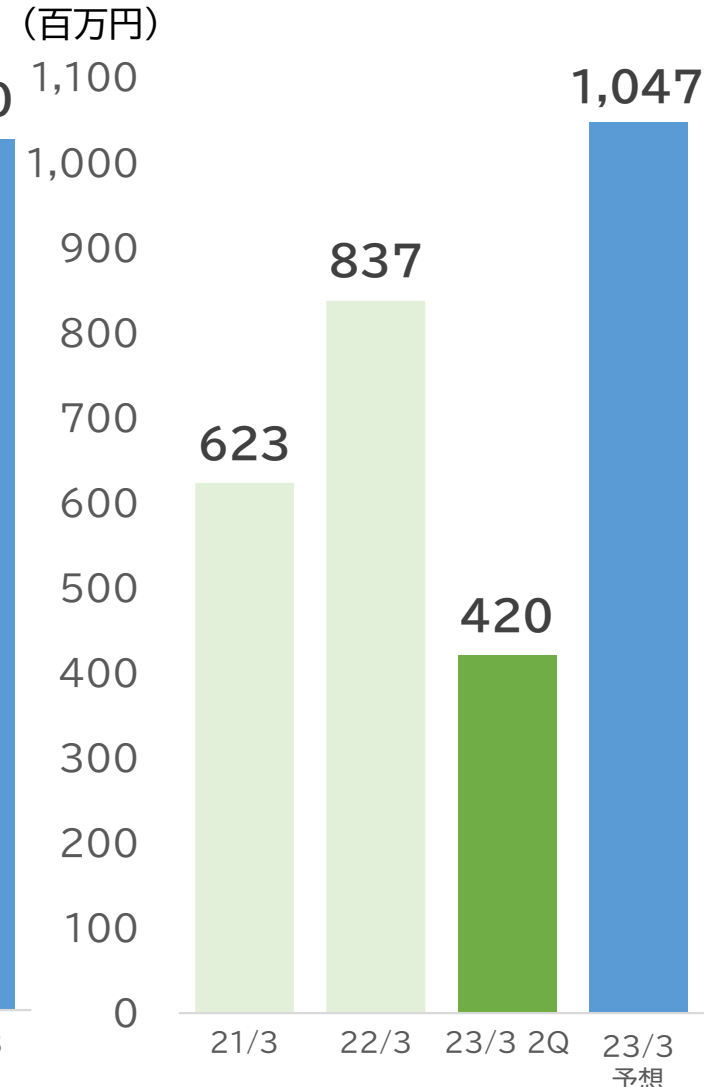
<売上高>



<営業利益>



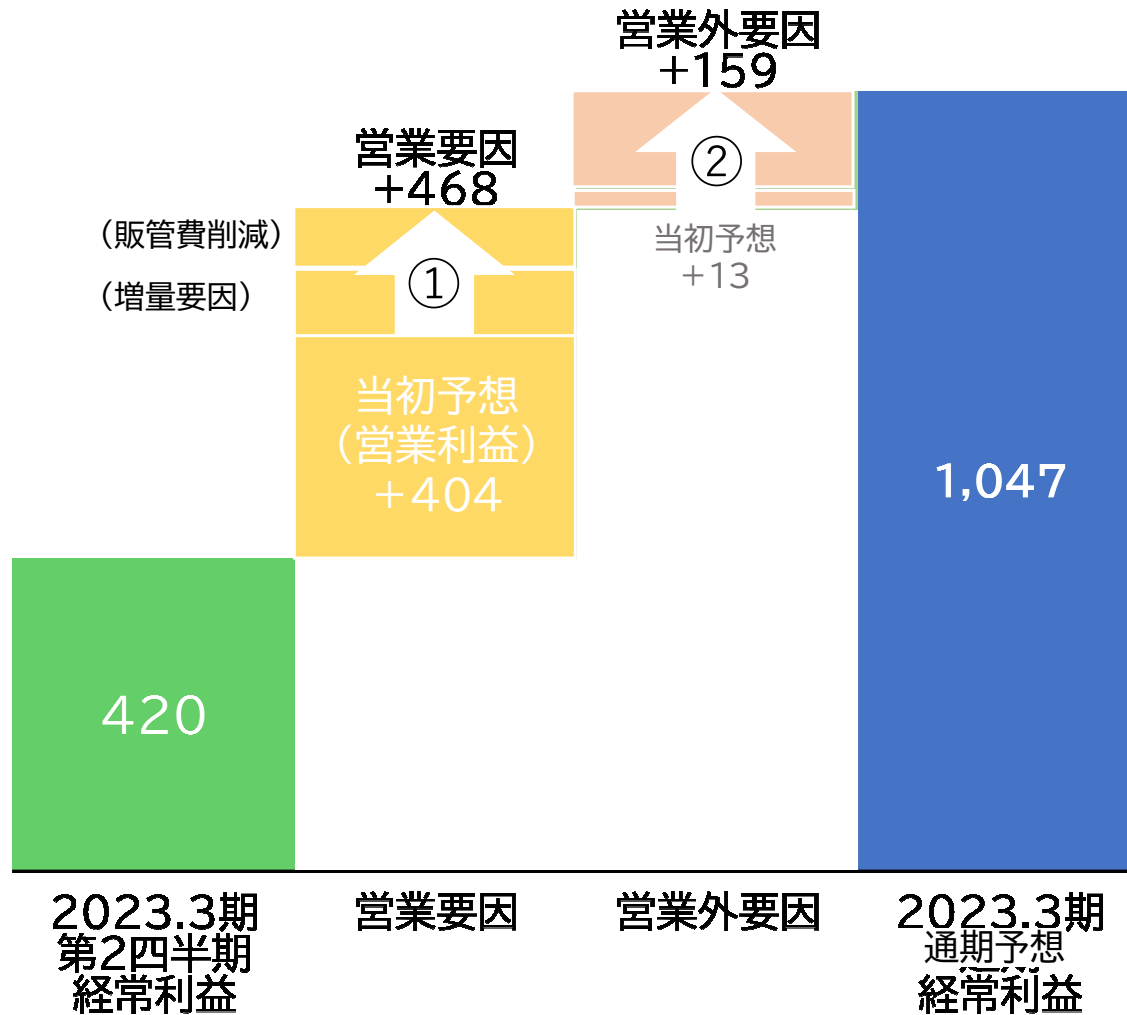
<経常利益>



※2021年3月期は、収益認識会計基準等の適用前の従来基準の適用です。

経常利益増減要因分析(通期経常利益予想)

(百万円)



※当初予定:2022年5月公表時点

①営業要因(営業利益)

明治用水の大規模な漏水による工業用水制限から、バイオマス発電所の稼働が制限され、発電所向けへの木質チップ販売量が減少しましたが、戦略的に当社が木質燃料チップ供給するバイオマス発電所においては、輸入バイオマス利用から、国産バイオマス利用へシフトさせていきます。また、新設拠点の本稼働を進め、下期増量により対応していきます。

さらに、相乗効果として、木質チップ外部保管ヤード返却等の販管費削減も見込んでおります。

②営業外要因(営業外収支)

財務体質等の経営基盤のさらなる強化を目的として、役員等に付保しております生命保険の解約に伴い167百万円を営業外利益に計上見込みであります。

エリア拡大

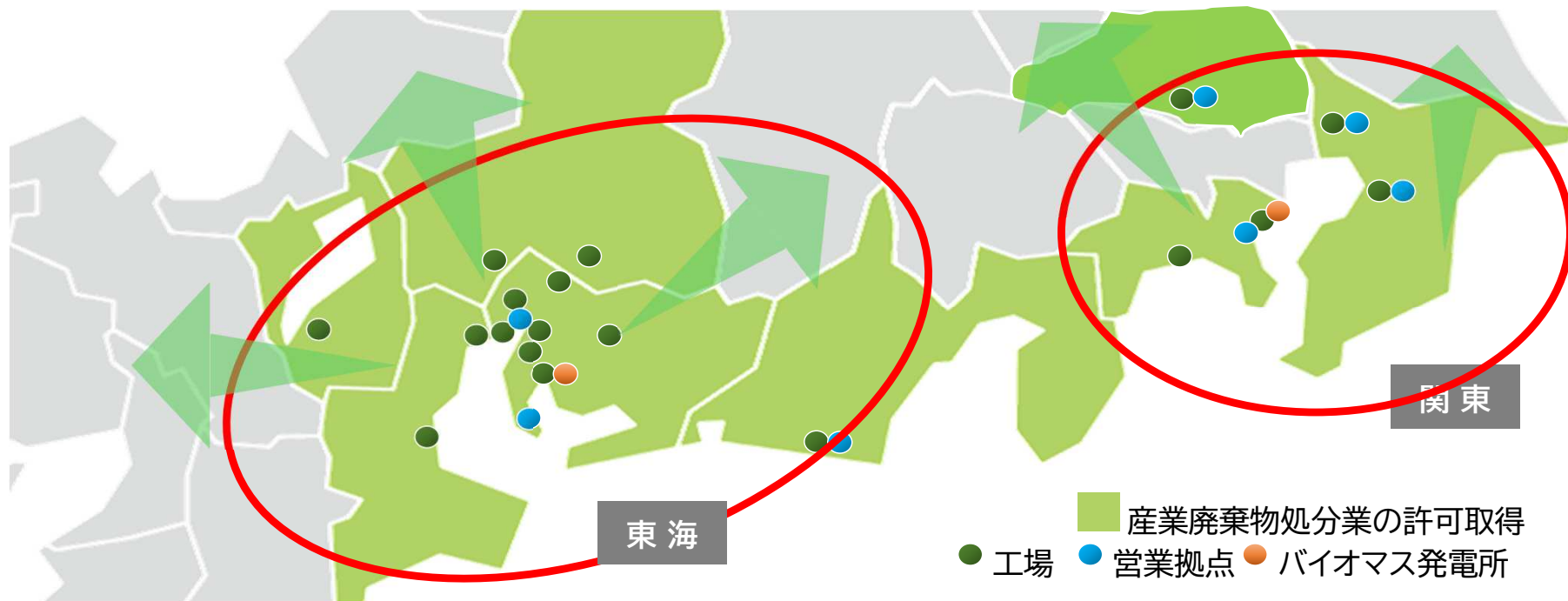
1. 需要地域への包括的な拠点展開

- 木質廃棄物処理拠点の新設及び資源循環事業拠点の併設
(多角的な収益源の確保と分散)

2. 木質バイオマス発電への積極的な参画

- 木質燃料チップ需要の創造
- 輸送面でのコスト及び環境負荷(CO2)の削減

SDGsへの寄与
再生可能エネの創出
資源循環の促進



環境面での社会要請に確実に応えながら、 成長分野をさらに拡大することで、永続的な成長を目指す

【(株)日本総合研究所からセカンドパーティ・オピニオンを取得】

当社グループの事業内容及びIPOにおける資金使途が「グリーンボンド原則2021」の特性に準拠し、SDGsにも貢献しており、特に以下の目標への貢献が期待できるとの評価をいただく。

- 目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 目標12 つくる責任 つかう責任
- 目標15 陸の豊かさも守ろう

事業区分	該当するSDGs目標	資金使途対象プロジェクト	完了(予定)年月
バイオマテリアル事業 (再生可能エネルギー)	  	岐阜第二工場	2022年5月完了
		西東京工場	2022年11月完了
		愛知第八工場	2024年10月
資源循環事業 (汚染防止及び抑制)		掛川リサイクルガーデン	2023年4月
		新千葉リサイクルガーデン	2023年10月
		湘南リサイクルガーデン	2023年10月

企業活動を通じて社会課題の解決に積極的に貢献

重点取り組みテーマ

当社の企業活動は、SDGsの17のゴールに広くかかわりますが、特に関係の深い6つのゴールに重点を置いて推進していきます。



木質バイオマス発電を中心に、クリーンエネルギー事業を推進、地球温暖化防止に貢献します。

新たな可能性にチャレンジし、積極的に技術開発に取り組みます。

産業活動や都市において排出される木質資源のリサイクルならびに新築現場から排出される建設副産物のリサイクル（資源循環）を強力に進め、廃棄物の削減と持続可能な街づくりに貢献します。

排出された木質資源のリサイクルのみならず、環境に配慮した木製物流機器の効率的回収・リフォーム・分別・リサイクルにより、国内外の過剰な森林資源の消費を抑制します。

フルハシEPOグループとSDGs

フルハシEPOグループは、社会のあらゆる場面で持続可能な社会の実現に貢献しています。

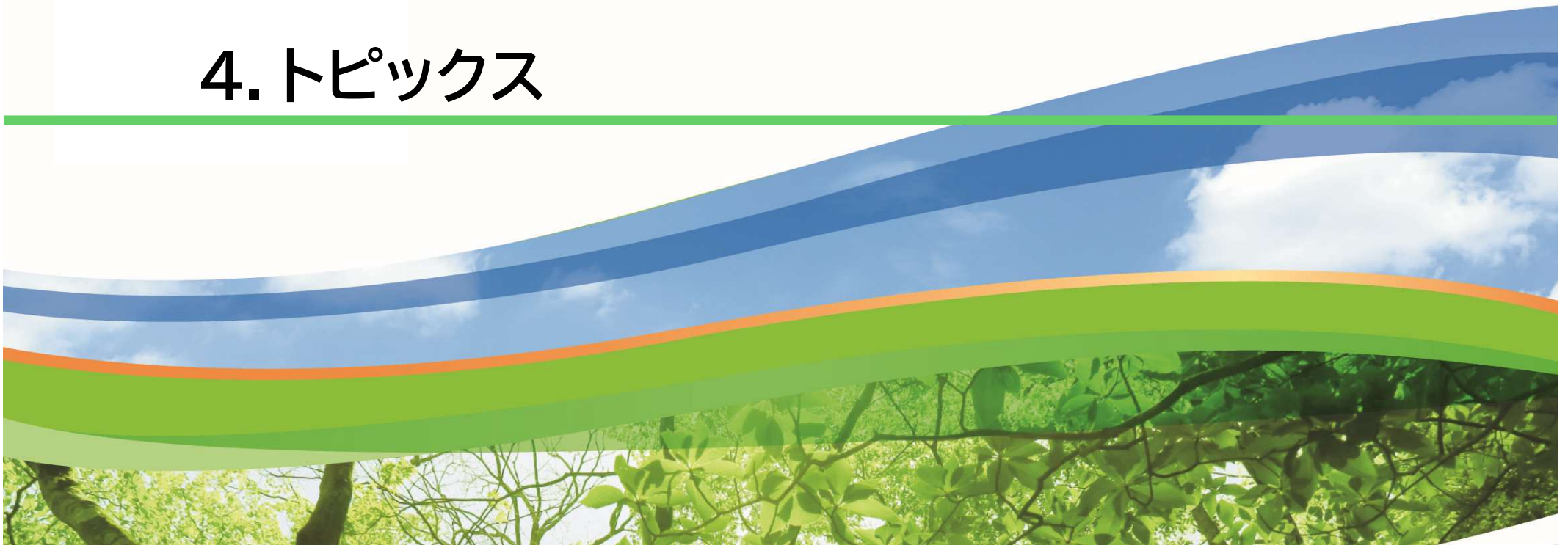
<p>(株)フィニティ</p> <p>収集運搬トラック</p>	<p>ASAP SECURITY (株)</p> <p>施設警備</p>	<p>(株)フルハシ 環境総合研究所</p> <p>オンラインSDGs研修</p>	<p>EPO ヒューマンリソース(株)</p> <p>清掃作業</p>	<p>FULUHASHI CORPORATION (THAILAND) LTD.</p> <p>外観</p>	<p>FULUHASHI CORPORATION (VIETNAM) LTD.</p> <p>作業の様子</p>
---------------------------------	--------------------------------------	---	-------------------------------------	--	--

1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

4. トピックス



供給効率の高い工場として市場強化、業績拡大に寄与するとともに
持続可能な低炭素エネルギー社会の構築に貢献

1) 岐阜第二工場(大垣)

岐阜県内2番目のバイオマテリアル事業の工場として2022年5月に稼働

住所	岐阜県大垣市浅草三丁目135番地
許可番号	第02120028236号(岐阜県)
生産量	30,000t/年



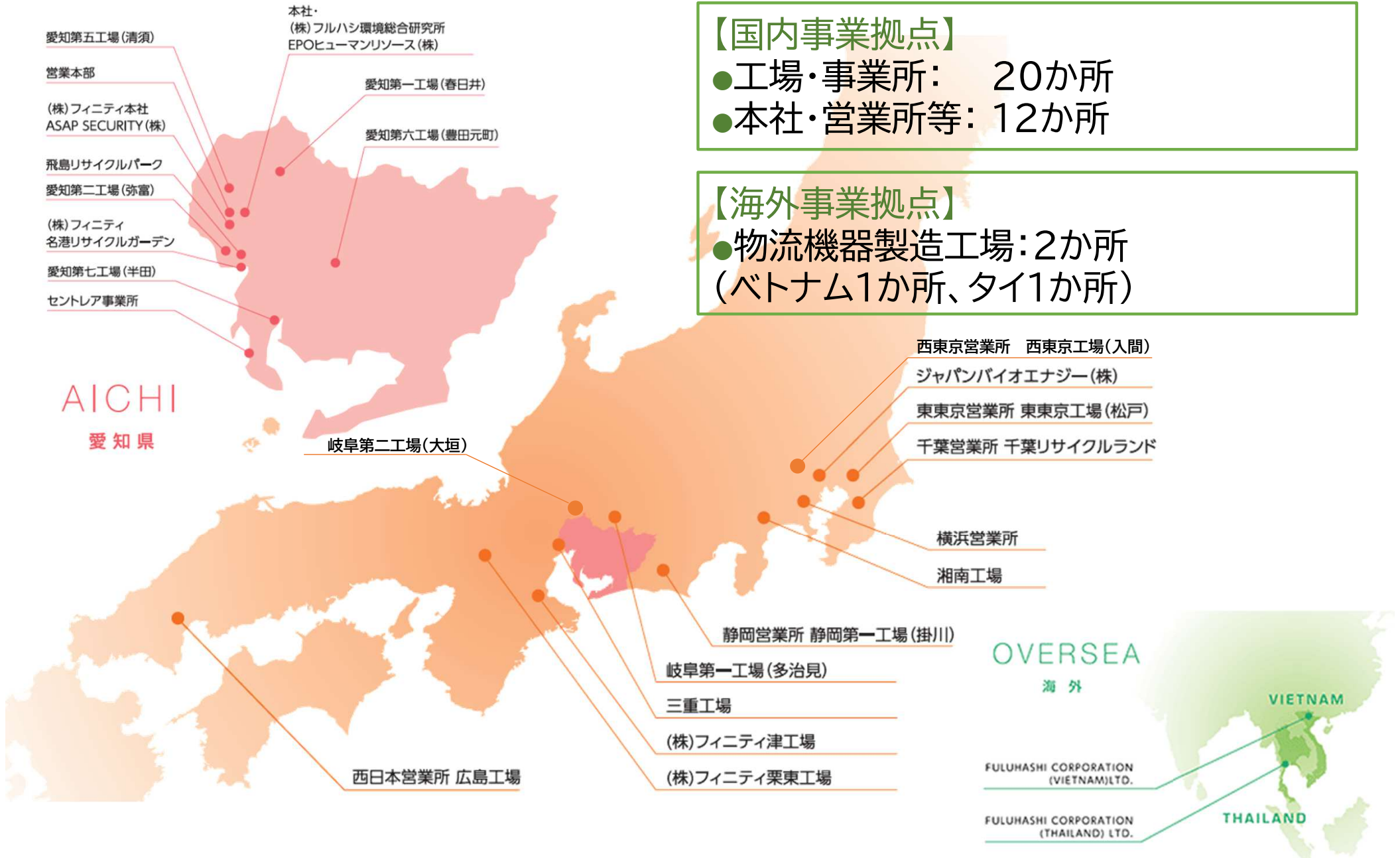
2) 西東京工場(入間)

埼玉県初のバイオマテリアル事業の工場として2022年11月に稼働

住所	埼玉県入間市狭山台三丁目9番5
許可番号	第01120028236号(埼玉県)
生産量	30,000t/年



当社グループ拠点

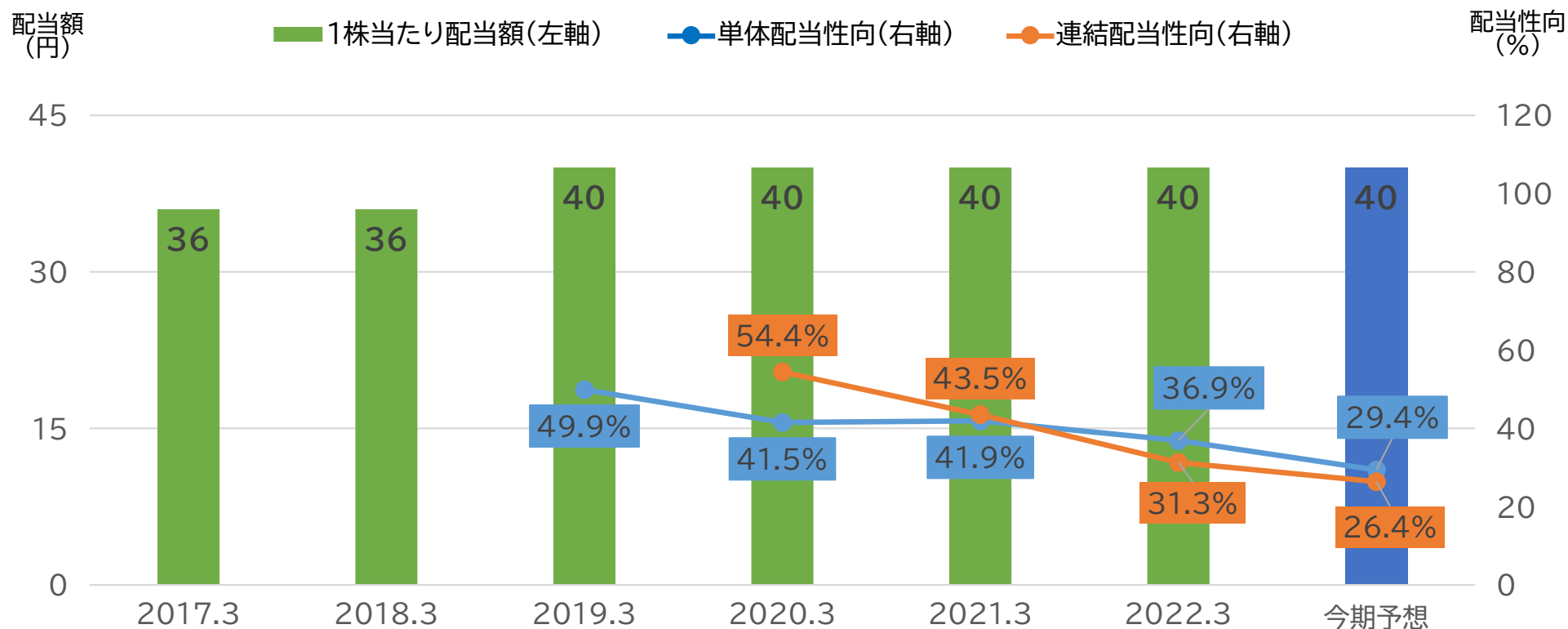


配当方針

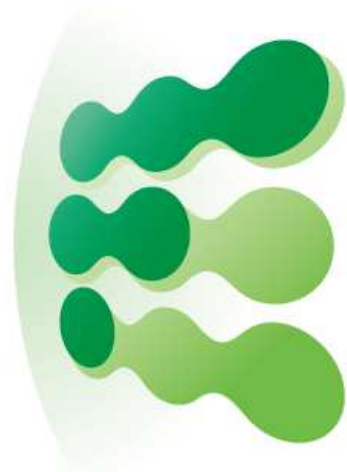
配当については、安定性・継続性に配慮し、業績動向、財務状況等を総合的に勘案して実施の方針。

配当性向は30%を目途に株主還元として配当を行う方針。

配当金・配当性向



(注)連結配当性向は、有価証券届出書記載の「1株当たり配当額」を連結の「1株当たり当期純利益」にて除して算出しております。



環境で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

本資料の取り扱いについて

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

フルハシEPO株式会社 総務部

TEL:052-324-9088